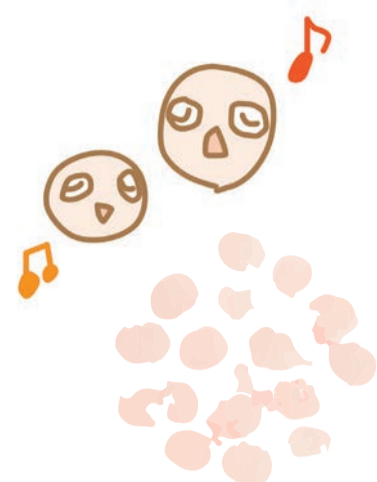


①クズ(荻野川の川べり)  
②カラスザンショウ(県自然環境保全センター)  
③ムクロジ(小鮎川沿い遊歩道)  
④モミジバフウ(県自然環境保全センター)

### じっと見てみよう

### 笑ってる? 歌ってる?

冬に葉が落ちると、葉から養分などを運んでいた管の断面が、人の顔のように見ることがあります。とても小さいので、注意して見てみましょう。

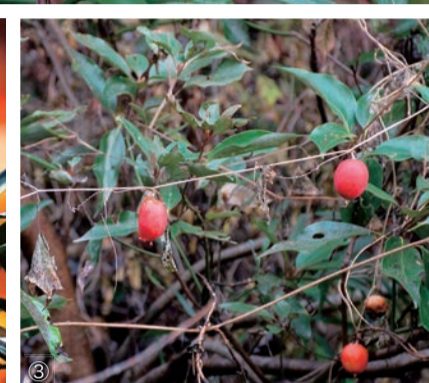
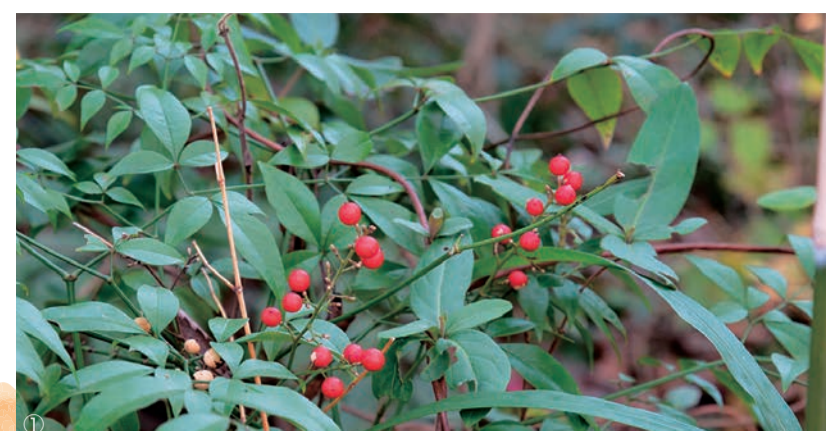


### 探してみよう

### きれいな色の植物

茶色ばかりに見える冬の森ですが、きれいな色の植物も見つかります。

- ①ナンテン(県自然環境保全センター)  
②サザンカ(飯山白山森林公園)  
③カラスウリ④マンリョウ(あつぎこどもの森公園)



## 冬の自然と遊ぼう

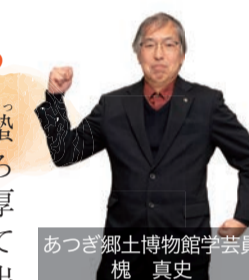
寒くても外には発見がいっぱい



一見枯れ木ばかりの冬でも、よく観察してみると、生き物や植物の面白い表情がたくさん見つけられます。家にこもりがちな季節ですが、身近な自然を味わってみませんか。

### 晴れた日には外へ出てみよう

暦では、3月6日ごろは啓蟄と言われ、虫が動き始めるころとされています。しかし、厚木の野山では、2月でも晴れて暖かい日であれば虫たちに出合えます。畑では、冬をさなぎで過ごしていたモンシロチョウが、勘違いで羽化し、ひらひらと飛んでいます。公園では、葉の重なった所で寒さに耐えていたムラサキシジミが、羽をいっぱい広げ、鮮やかな紫色を見せつけるかのよう



ように日光浴しています。僕のお勧めは、相模川河原の草原歩きです。生き残っていたトノサマバッタやヒナバッタが、ぴよんとはねる場面に出くわすと、冬を生き抜いた虫たちのけなげさに触れます。冬の暖かな日差しは、いろいろな生き物の目覚め、そして私たちとの出会いをプロデュースしてくれるのです。



トノサマバッタ(相模川三川合流点)

### 2月は彗星観察のチャンス

2022年3月に発見されたZTF彗星が接近中です。地球に接近する恐れのある小惑星などを探するため、夜空の隅々を撮

影している観測プロジェクトによって発見され、その名が付けられました。

彗星とは、直径数千メートル程度の巨大な氷の塊が太陽に接近し、噴き出したガスやちりが雲のように見える天体です。太陽系の仲間としてはごく小さな存在ですが、太陽系誕生や生命の起源を探る上で注目されています。

ZTF彗星は、2月2日に地球に最接近。双眼鏡があれば見える明るさになりそうです。探し出すことは、近くにある目立つ星を手掛かりにすることです。2月中旬には、明るい火星の近くに見えます。

夜が長く、空気が乾燥している冬は、天体観測にぴったり。ZTF彗星の観測は子ども科学館ホームページで解説しますので、ぜひ防寒をして、冬の夜空を眺めてみてください。



子ども科学館 菅原 賢

## 自然歳時記

### ゴシュユ ミカン科

写真・文/吉田文雄

ゴシュユは、中国原産の落葉低木。日本では帰化植物。あまり聞き慣れない名前だが、薬用植物として江戸時代に渡来した。葉の落ちた跡にできる葉痕がユニークな顔に見える/県自然環境保全センターで見つけた。

ヒサカキの小粒の実を、メジロやジョウビタキたちが盛んについで食べている。この時期、花や実は少ないが、葉の落ちた跡にできる葉痕と冬芽が面白い。センダン、クズ、オニグルミ。笑顔や怒った顔など、見飽きない。

観察会の時、ふと見つけたかわい顔がゴシュユだった。目や鼻、



口に見えるのは維管束痕で、役目は葉や茎に水分や養分を送っていた管の断面の名残りだが、1本の枝の中にも喜怒哀楽の顔があり今の世相を表しているように見える。ゴシュユは、健胃や利尿作用の漢方として使われたらしい。何げなく見つけた木にも不思議が隠されている。

### 県自然環境保全センターのミニ観察会

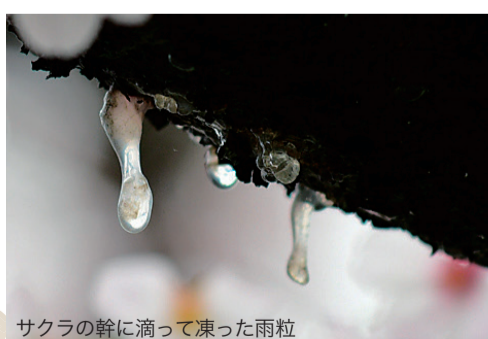
第3日曜には、自然歳時記の吉田さん(みずきの会)と自然を学べる観察会を実施しています(講師は週変わり)。《日時》毎週日曜 13~15時 《費用》無料 ④当日直接会場へ。

④県自然保護課 ☎248-6682

### 早起きしてみよう

### 冬ならではの自然現象

踏むとざくざく鳴る霜柱や、思わず割ってみたい氷など、冬しか見られない現象を見つけてみましょう。



サクラの幹に滴って凍った雨粒

### 実験してみよう



### 木の実が洗剤に?

冬に実を落とす植物を使った実験を紹介します。

### ムクロジの実で実験

古くから洗剤や羽根突きの羽の材料として使われてきたムクロジ。市内では、県自然環境保全センターなどにあります。



①ムクロジの実をペットボトルに入れ、水を注ぐ。実を割って、黒い種子を取り除くと、泡立ちやすくなる。



②ペットボトルのふたを閉め、よく振る。



③泡立ったら、何が出来るか考えてみよう。  
・手を洗ったらきれいになる?  
・泡立てネットを使ったらどうなる?  
・一晩漬けておいたらもっと泡立つ?  
・シャボン玉はできる?

あつぎ 元気Wave 2/1~CATVで放送

神奈川工科大学 厚木市子ども科学館 YouTubeチャンネル・公式Twitter

《YouTube》 科学や自然を使った実験、工作などを紹介しています。

《Twitter》 プラネタリウムの情報などをリアルタイムでお届けしています。

④子ども科学館 ☎221-4152

### ミニ工作教室「アヒルコップ」

《日時》3月12日 ①13時40分~②14時30分~(各回30分) 《場所》子ども科学館 《内容》ストローと紙コップで音の鳴るおもちゃを作る 《定員》24人 《費用》無料 ④当日9時から電話で受け付け。他にも、太陽観察会(2月5日)、ミニ工作教室「コロリン」(2月12日)、土曜科学実験室「カイロをつくろう」(2月18日)などを開催。詳しくは広報あつぎ1月15日号や市HPでお知らせ。

④子ども科学館 ☎221-4152

### 皇大神社のムクロジ

ムクロジの中でも大きく、樹齢100年以上の古木であることから、価値が高いとして2022年に市の天然記念物に指定されました。ムクロジは別名せつげんの木とも呼ばれ、果皮は洗剤として、黒い種子は数珠や羽根突きの羽根の玉としても使われてきました。漢字では「無患子」と書き、子どもの無病息災を願って古くから神社や寺院に植えられてきました。

④文化財保護課 ☎225-2509

